

-九州建設技術交流会だより-

九州建設技術交流会を発足

～建設技術の振興・発展へ、九州の産学官が連携・交流～

九州建設技術交流会会長

(九州地方整備局企画部長) 森北 佳昭



さる6月11日に福岡市において九州建設技術交流会の発足を兼ねた第1回交流会が開催されました。当交流会は九州における建設分野の産学官の皆様が新技術の開発、活用、普及の促進を通じ建設技術の振興、発展に寄与するための情報交換を行う場として設けられたもので、毎回の交流会企画や運営も産学官から選出した幹事や事務局員が行う産学官協働の交流会として発足しました。

初回の第1回交流会は、出光隆九州工業大学名誉教授による記念講演「土木の温故知新」と産学官それぞれの立場から5名の方に新技術等に関わる概況や課題、施策、問題意識等について語っていただきました。当日は約120名の産学官の皆様の参加を得、九州での建設技術のさらなる振興、発展にむけた意識の高揚への有意義な交流の場となりました。



【交流会の開催状況】

《プログラム概要》

- 挨拶：九州地方整備局企画部長 森北佳昭
- 設立趣旨説明ほか：九州地方整備局企画部機械施工管理官 岡本正美
- 記念講演：「土木の温故知新」九州工業大学名誉教授 出光 隆
- 話題提供：
 - ①「新技術活用における現状、問題点と方策について」
(社)建設コンサルタンツ協会九州支部 森 隆信
 - ②「最近のプレストレストコンクリートの動向」
(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部 角本 周
 - ③「技術者育成の面から見た大学の現況」
九州大学大学院工学研究院 園田佳巨
 - ④「北九州市における建設リサイクル資材認定制度について」
北九州市 技術企画課 大貝保志
 - ⑤「国土交通省技術基本計画について」
国土交通省九州地方整備局企画部 森北佳昭

記念講演[土木の温故知新]

九州工業大学名誉教授 出光 隆 氏

記念講演では8世紀前半に活躍した行基(後の行基大僧正)の利他行(寺外で衆正を助ける実践の行)による交通や灌漑等施設整備での生活や民心安定への実践事例、またペシャワール会の中村医師によるアフガニスタンでの飢餓救済への灌漑土木事業(日本古来技術を独学し実践)実践事例などから本来の土木の心(基本理念)を説かれました。また社会資本整備へ様々な議論がある昨今、はるか古代から西海道等交通基盤の整備に努力された先人の歴史。また徳川時代の治水事業や明治時代のデ・レーケ(オランダ技術者)の治水、港湾等事業などが我国の近代化の中で果たしてきた役割、意義などを説かれ、後段では最近の九州での土木技術にかかる先駆的な取組事例を紹介され、最後に21世紀はGNP(国民総生産)からGNH(国民総幸福)に向かうべきと説かれました。



【出光先生による記念講演】

産学官、5名の皆様より多彩なプレゼンテーション

～記念講演にひきつづき産学官の5名の皆様より問題提起や技術や施策紹介等をいただきました～

【新技術活用における現状、問題点と方策について】

(社)建設コンサルタンツ協会九州支部
森 隆信 氏



森氏のプレゼンでは現在のNETISを核とした新技術活用促進の取組みの中でのコンサルタントが本来担うべき役割と位置、一方での新技術提案への積極性が全体的に薄い等の現状や課題と改善への方策の視点などが報告、提案されました。方策ではコンサルタント業務での有効な新技術提案へのプロポーザルや成績評定等でのインセンティブ付与の重要性が説かれ、また利用する立場からのNETISの改善提案などもいただきました。

【最近のプレストレストコンクリートの動向】

(社)プレストレストコンクリート建設業協会九州支部 角本 周 氏



角本氏のプレゼンでは超高強度鋼繊維補強のコンクリートやモルタル、高強度軽量骨材コンクリートの実証事例をはじめ、高炉スラグ微粉末活用事例、建築物耐震補強への各種PCプレキャスト技術活用事例、電気防食保全技術事例、プレテンウェブ工法やU型コンボ橋、ストラット付箱桁橋、複合構造橋、大偏心外ケーブル構造橋、懸垂架設工法等の最近の新しい橋梁技術例など、各種のPC技術高度化事例を紹介いただきました。

【技術者育成の面から見た大学の現状】

九州大学大学院工学研究院
園田 佳巨 氏



園田氏のプレゼンでは公共事業や土木建設分野のイメージが本質論を離れた形で国民意識や政治意識等の中に育まれている昨今の時代環境の中で、土木建設部門を目指す人材が大きく減少し急速な少子化とも相まって優秀な学生の確保育成が大きな課題となっていること。またゆとり教育による学力低下の中で、社会が求める技術者としての資質を身に付けた人材を輩出するには、産学連携の人材育成プログラムを模索する必要があることが報告されました。

【北九州市における建設リサイクル資材認定制度について】

北九州市 技術監理室
大貝 保志 氏



大貝氏のプレゼンは「世界の環境都市」を目指し資源循環型都市づくりを推進されている北九州市での[建設リサイクル資材認定制度]を報告いただきました。この制度はリサイクル資材について認定委員会において性能、品質、経済性、環境等の面から審査評価し、認定された資材は市ホームページに公表すると共に市の公共事業においても優先的に活用し資源循環促進に資するもので全国でも先駆的な取り組みとして推進されているものです。

【国土交通省技術基本計画について】

国土交通省九州地方整備局企画部 森北 佳昭 氏

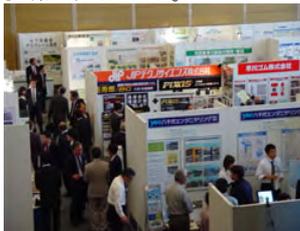


森北氏のプレゼンは先頃、国土交通省で策定された技術基本計画について報告いただきました。同計画は国の科学技術基本計画とも連動しH20～5ヶ年を計画期間とし推進するもので国土交通分野で直面する課題と目指す社会方向等から重点的に取り組む技術研究開発の方向等が示されています。またこれらの推進においては産学官連携や新技術活用評価の促進、公共団体等連携を含めた地域ブロック活動強化などが重要施策として提起されています。

「九州建設技術フォーラム2008 in福岡」

平成20年11月26日(水)、九州大学医学部百年講堂(福岡市東区馬出3丁目)において新技術の開発・活用・普及にむけた産学官連携の九州建設技術フォーラム(同フォーラム実行委員会主催)が開催されます。当日は基調講演、プレゼン、技術展示、意見交換等の産学官の情報交流事業が予定されています。詳細は同フォーラムホームページ【<http://www.cag-forum.com/index.php>】をご参照ください。

【昨年の開催状況】



今後の交流会開催に向け、幹事会を開催！！

去る7月30日に幹事会を開催し第2回交流会開催と第3回交流会の企画方針等を検討しました。第2回交流会は「技術セミナー」として8月28日に開催。第3回交流会は11月26日の九州建設技術フォーラム開催とも関連し10月初旬頃開催を目的に企画していくこととしました。

九州建設技術交流会幹事会は産学官より各々2～3名の幹事を選出いただき交流会の企画や運営方針等の検討にあたっていくこととしています。

【事務局より】

当交流会事務局は産学官より事務局員を選出いただき協働の事務局として運営しております。九州での新技術の開発・活用・普及等へのご意見やご要望などがございましたら、お気軽に右の事務局までお寄せください。

【発行者】九州建設技術交流会

●官=九州地方整備局企画部機械施工管理官
TEL:(092)471-6331 FAX:(092)476-3483

事務局

●学=九州大学大学院工学研究院
TEL:(092)802-3372 FAX:(092)802-3372

●産=(社)九州建設技術管理協会
TEL:(092)471-0189 FAX:(092)414-0767
E-mail:kouryukai@kyugikyoo.or.jp